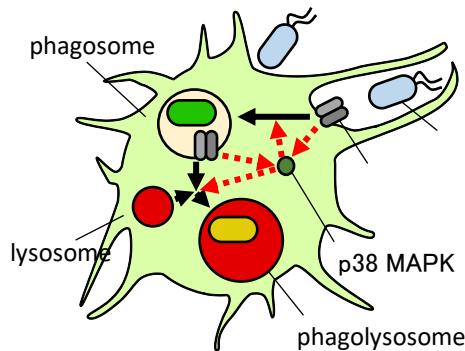
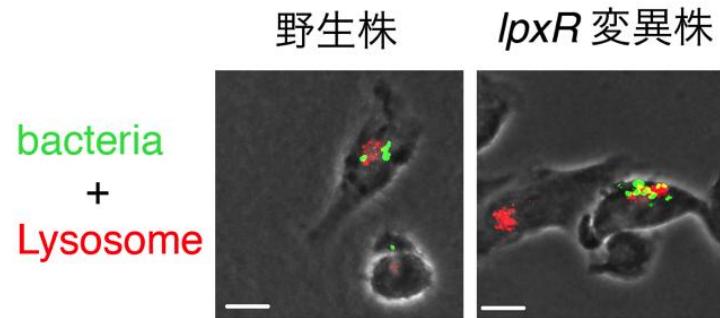


分子病原微生物学研究室（戸邊研）



病原性解析の例:

腸管出血性大腸菌はマクロファージに取り込まれてもリソームでの殺菌を遅延させるようにLPSを改変する。

(Ogawa et al., Cel Microbiol 2018)

- 感染症の原因となる病原細菌の感染メカニズムや病原性獲得による新規病原体の出現のメカニズムについて研究しています。感染症やその制御法の開発に繋げる研究に興味のある学生を募集します。
- 研究は日々の地道な実験の積み重ねです。根気よく続け、失敗にもへこたれないことが大切です。ときには小さな発見が喜びとなると思います。是非私たちの研究に参加して感染症の克服に貢献してください。
- 研究内容や研究室についてはホームページを参照してください。